

農業・農村分野で活動している

地域おこし協力隊

My Challenge Book

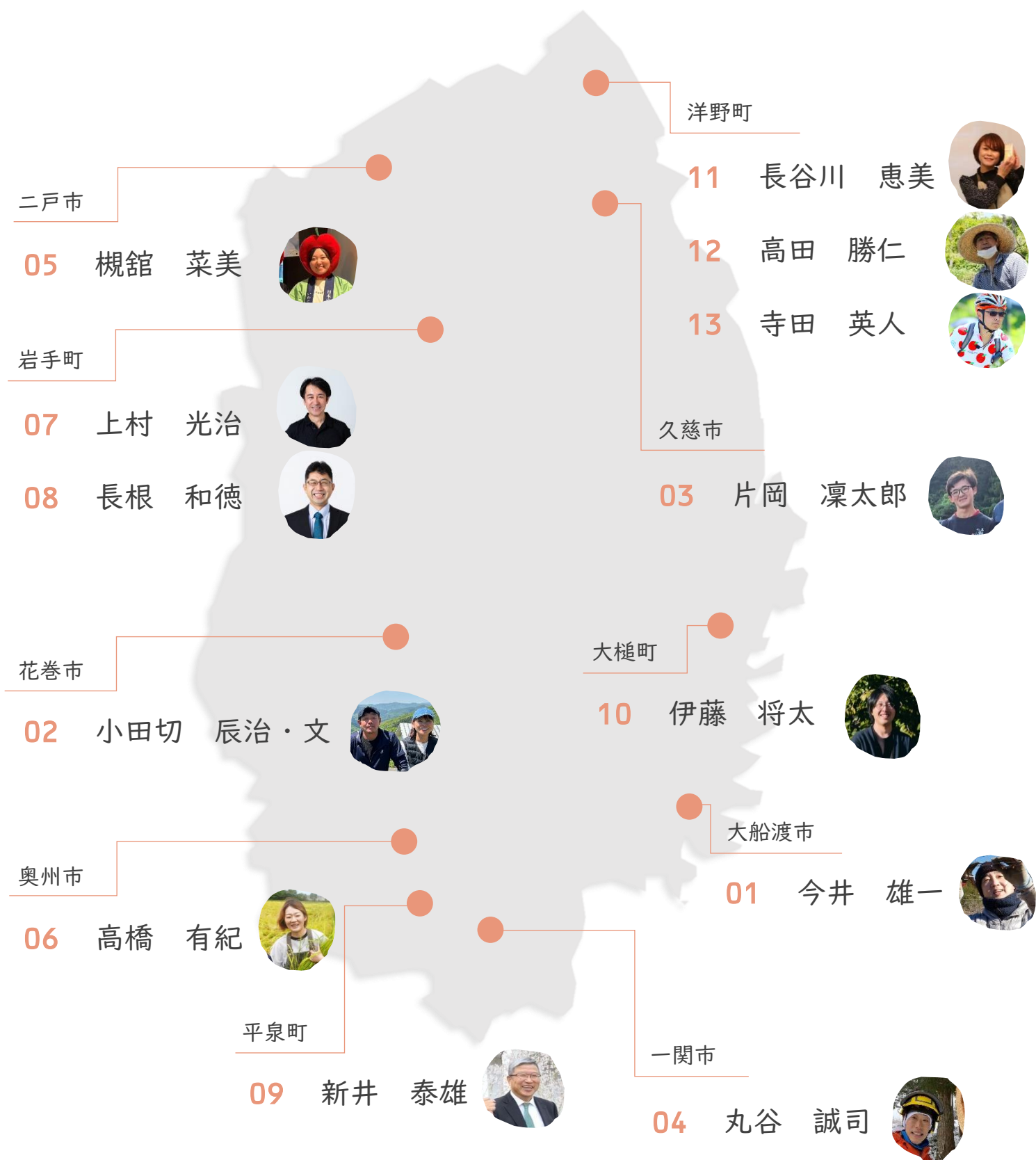
I W A T E

令和7年4月
東北農政局岩手県拠点



CONTENTS

目次



01



大船渡市

いまい
今井ゆういち
雄一

出身地

埼玉県鴻巣市

転出元

鹿児島県肝属郡錦江町

任期

令和4年4月～
令和7年3月

活動内容

- ①受け入れワイナリーでのワイン醸造及び販売に関する作業
- ②リンゴ及びブドウの栽培管理作業

好きなことをしながら
そこそこ楽しく暮らして
いけたらいいかな

応募のきっかけ

50歳を過ぎたところで残りの人生を楽しむためにワイン造りに関わる仕事につくことを目標として脱サラし、ブドウ栽培及びワイン造りに関われる地域おこし協力隊に応募しました。

夢実現へ「これが必要！」

実現させたいことは、自分が育てたブドウやリンゴから造られたワインやジュースなどが多くのお客様に購入していただけるようになることで、そのために必要なものは、①リンゴとブドウの圃場、②リンゴとブドウの樹、③栽培技術、④加工品の製造技術、⑤上手な売り方、⑥あきらめない心、⑦地域との繋がり、だと考えています。

仲間たちへのメッセージ

ワイン、果物、スイーツが大好きです！
ワインや果樹栽培に興味がある人と繋がりたいです。
大船渡近辺に来た時はスリーピークスイナリーに寄ってください。

02



花巻市

おたぎり
小田切たつじ
辰治
ふみ
文

出身地

(辰治) 長野県伊那市
(文) 岩手県花巻市

転出元

東京都北区

任期

令和6年4月～
令和9年3月

活動内容

- ①ぶどう栽培技術の習得
- ②大迫産ぶどうの6次化
- ③地域イベントへの参加

持続可能な農家の
新しいスタイルを
提案したい！

応募のきっかけ

- ・時代の変化と共に目指すところが変わる
- ・食育、そして一次産業への興味
- ・地元の町おこし、町づくり

夢実現へ「これが必要！」

- ・パートナーシップの拡大
- ・「やりたい」気持ちの言語化
- ・関係人口を増やす

仲間たちへのメッセージ

ぼくはきっとできるとおもふ。
なぜならばくらがそれをいまかんがへてゐるのだから。

宮澤賢治『ポラーノの広場』より



※片岡さん（右から2番目）



久慈市

かたおか

片岡

りんたろう

凜太郎

出身地 新潟県小千谷市

転出元 岩手県金ヶ崎町

任期 令和5年4月～
令和8年3月

活動内容

- ①農家さんの手伝い
- ②肥育共同牛舎の給餌
- ③牧野の監視

自分でやっていく上で、ある程度の経験と知識も同じく必要になってくる。農業大学校で学んだ知識をもう一度整理しながら、協力隊任期中に農家さんの手伝いのなかで飼養管理のノウハウや知識をもっと学んでいきたい。

応募のきっかけ

地元の新潟県小千谷市では闘牛をやっており、小さなころから牛と一緒に暮らしてきました。そのため、牛に興味を持ち畜産をしたいと思うようになりました。年々農家さんが少なくなっていることを耳にし、闘牛の素牛を減らしたくないと思い、協力隊に入っている農家さんを回り勉強をして就農をしたいと思い入隊をしました。

夢実現へ「これが必要！」

最終目標は就農なので、そのために牛舎や農業機械などが必要になってくる。そのため、まとまった資金が必要。

仲間たちへのメッセージ

協力隊3年目に入ります、片岡凜太郎です。後1年ですが、色々勉強したいと思っているので、畜産分野限らず仲良くしていただければと思います。よろしくお願いします！



一関市

またに

丸谷

せいじ

誠司

Instagram



出身地 広島県広島市

転出元 広島県広島市

任期 令和5年7月～
令和8年6月

活動内容

- ①自伐型林業の習得
- ②自伐型林業と組み合わせる副業の創出
- ③借家の改修

国土を守る山守に
おらほは なる！

応募のきっかけ

豪雨災害がきっかけ。
3トン未満のバックホウで作る、国土を壊さない小さな作業道が面白く美しかったから。

夢実現へ「これが必要！」

- ・心身ともに元気に過ごせる暖かい家。
- ・自分の山林森、3トン未満バックホウ、木材搬出運搬車

仲間たちへのメッセージ

山から海まで、水は田畑の間を縫って流れる。栄養も流れる。自然の循環を呼び覚まそう。無為自然。



二戸市

つきだて
槻館

なみ
菜美

Instagram



出身地 岩手県盛岡市

転出元 岩手県金ヶ崎町

任期 令和6年4月～
令和9年3月

活動内容

- ①受け入れ農家での研修
(りんご、ブルーベリー、ぶどう、モモ、なし)
- ②地域イベントへの参加
- ③県内外での販売会

いつかは独立し、
ブルーベリー観光農園
を開きたい！

応募のきっかけ

大学生の時、ブルーベリーの栽培技術や観光農園について働きながら研修ができる就職先を探していて、担任の先生のお知り合いの方が、二戸市でブルーベリーやりんごの栽培をしている農家さんで、地域おこし協力隊を募集しているということを紹介していただいたのがきっかけです。

夢実現へ「これが必要！」

- ・ブルーベリーの栽培技術や農園を運営するための経営知識が必要。
- ・観光農園を開くための資金や販売技術が必要。

仲間たちへのメッセージ

昨年度から地域おこし協力隊に就任しました槻館です。よろしくお願いします。

まだまだ不慣れではありますが、頑張ります！地域おこし協力隊の方との交流は初めてなので色々教えてください！



※高橋さん(右)



奥州市

たかはし
高橋

ゆき
有紀

Instagram



出身地 岩手県奥州市

転出元 神奈川県逗子市

任期 令和6年4月～
令和9年3月

活動内容

- ①水稻の栽培管理
(農事組合法人アグリ笹森)
- ②農業・農産物の魅力発信
(写真展、タブロイド、SNS)
- ③地域に関わる活動
(いさわ散居ガイドの会、古民家再生)

人が集まる田んぼ、
生き物が集まる田んぼを
作りたい！

応募のきっかけ

- ・コロナ禍以降リモートワークが可能になった
- ・前職(ライター)で食・農分野の取材をしていた
- ・釣りが好きで1次産業に魅力を感じるようになった

夢実現へ「これが必要！」

- ・稲作に関する知識と技術の習得
- ・農地/機械/作業場/家etc. 問題の解決
- ・編集/ライター業の継続(半農半XのXとして)

仲間たちへのメッセージ

共に悩み、夢を語り合いましょう。

07



岩手町

かみむら
上村みつはる
光治

Aチーム HP



出身地

埼玉県加須市

転出元

東京都目黒区

任期

令和4年9月～
令和7年8月

活動内容

- ・ 地域課題の発掘とその解決に向けた取り組みの実施
- ・ 岩手町の関係人口の拡大を目指す「いわてまちAチーム」の運営

真剣に、
面白いことを
はじめよう



応募のきっかけ

教育関連ワークショップのファシリテーターとして訪れた岩手町。豊かな自然環境や、地域の方々の人柄に惚れて地域おこし協力隊に参加しました。

夢実現へ「これが必要！」

地域の「課題」よりも「魅力」に注目し、多くの人に岩手を知ってもらいたいと考えています。地域の枠を超えた連携をすることで、それぞれの魅力も倍増するはず。一緒に活動できる仲間を募集中。

仲間たちへのメッセージ

まずは自分が楽しむことが大切だと思っていますので、イベントや企画などがありましたら誘ってもらえると嬉しいです。

08



岩手町

ながね
長根かずのり
和徳

Instagram



出身地

岩手県盛岡市

転出元

岩手県滝沢市

任期

令和7年2月～

活動内容

- ①地域課題解決チーム
- ②農業で腸（町）健康
- ③スポーツで超（町）イキイキ

皆がいい顔で過ごせる
世の中に！！

応募のきっかけ

スポーツから町に活気をもっていたところ、岩手町地域課題解決チームがあることを知り、地域のために活動したいと思い応募することになりました。

夢実現へ「これが必要！」

1人の力には限界があるが、一人一人が手を合わせ協力することで二人が三人に、三人が四人にと皆で大きな力を作っていく必要がある！！

仲間たちへのメッセージ

皆で楽しむ環境作り！一人で困らず皆で手を取り合ってより良い地域にしていきたいと思います！！

09



平泉町

あらい やすお
新井 泰雄

出身地 大阪府東大阪市

転出元 大阪府東大阪市

任期 令和5年4月～
令和8年3月

活動内容

- ①ヤーコンの6次産業化と農家所得向上でヤーコン栽培農家と平泉ヤーコン研究会設立
- ②平泉戸内手づくり味噌研究会の味噌、岩手銘醸の酒粕、平泉のヤーコンで「ヤーコン味噌漬け商品化」
- ③岩手県工業技術センター、岩手大学農学部、日本ヤーコン協会とヤーコン6次産業化連携

ヤーコンを通じて
平泉町を健康寿命
日本一にする

応募のきっかけ

「ヤーコン」の栽培を奨励した平泉町の挑戦力に魅力を感じました。地域おこし協力隊は、若い人だけでなく高齢者でも隊員として活動できることを示したかった。

夢実現へ「これが必要！」

平泉町のある方から貴重な言葉をいただきました。平泉元町長が提唱した、住んで良し、訪れて良し、夢のある理想郷平泉を実現するために、産官学連携だけでなく平泉来訪者もステークホルダーとした共働者の組織構築が必要です。

仲間たちへのメッセージ

共にお互いの町のステークホルダーとして共働し合いませんか？夢を実現するために、課題解決のため化学反応を起こしましょう！

10



大槌町

いとう しょうた
伊藤 将太

Instagram



出身地 岩手県北上市

転出元 岩手県北上市

任期 令和3年12月～
令和7年3月

活動内容

- ①農業×耕作放棄地再生
- ②若者×関係人口創出
- ③クラフト×メディア制作

「好きと生きる」
ことができる
社会をつくる

応募のきっかけ

元々 地域おこし協力隊の採用支援や行政と連携した移住促進企画を行う団体に所属していたことから、自分自身が地域おこし協力隊になってみたいと思い、一期生を募集していた大槌町に応募しました。

夢実現へ「これが必要！」

現在2期目のさともし株式会社のしぜん部門・つなぐ部門・つくる部門の3部門を確立させていくために、農業事業の安定的な収益確保、複合事業ならではの価値（事業間連携）を生み出していきたいと考えています。

仲間たちへのメッセージ

今は起業し農業をしています、実は最初は家庭菜園からのスタートで、気づいたら70倍以上の圃場規模になっていました。その経験から、何事も愚直にコツコツと取り組むことが大切だと思っています。



洋野町

はせがわ えみ
長谷川 恵美

出身地 岩手県洋野町(旧大野村)

転出元 岩手県久慈市

任期 令和5年4月～
令和8年3月

活動内容

農産物加工工場のうち
「おおのパン工房」を中心に
パン等の商品製造や企画、販路
拡大に係る情報発信や販売活動、
事務処理等の運営支援

洋野町 エンパワメント！

応募のきっかけ

・東京からUターンし、すぐに隣町に住み就職したが、生まれ育った洋野町(大野村)に関わって働き、何か役に立ちたいという思いが募り、自分のミッションも決めずに決意。

夢実現へ「これが必要！」

・洋野町のすべてが宝の山と感じた「よその」目線の感動、新鮮さを忘れない。魅力いっぱいの洋野町は消滅可能自治体になってしまいました。人口が増えるのは限界があると思われるので関係人口をたくさん増やし、もともとある宝を引き出す町外人目線の魅力発信が必要。

仲間たちへのメッセージ

・海と山が両方あり ※『日本一星空が見やすい場所』洋野町に一度遊びにきてみてね！

※2007年度環境省の冬期全国星空継続観察によって「日本一の星空観察適地」に選ばれる。



洋野町

たかだ かつひと
高田 勝仁

出身地 千葉県松戸市

転出元 千葉県我孫子市

任期 令和2年4月～
令和7年3月

活動内容

- ①農業推進
 - ・・・・年間約20品目の野菜を栽培
- ②岩手グリーン認定取得
- ③化学合成農薬化学肥料不使用栽培
 - ・・・・有機JAS認証取得を目標

洋野町産の 有機農産物を 多くの人に 食べていただきたい

応募のきっかけ

富士大学(花巻)に4年間に在学した経験があります。卒業後は出身地に戻りましたが、岩手県の自然環境や岩手県民の優しさが忘れられず、退職して地域おこし協力隊農業推進員として岩手に移住し現在に至っております。

夢実現へ「これが必要！」

地域おこし協力隊卒業後も今まで通り農業を継続し、安定した生活ができるように頑張っていきます。生活が安定していければ6次産業化なども検討していきたいと考えてます。

仲間たちへのメッセージ

気候変動・野生動物の被害など、農業を取り巻く環境が厳しくなってきました。皆はどの様に乗切っているのかな？



洋野町

てらだ
寺田

ひでと
英人



出身地 青森県八戸市

転出元 青森県階上町

任期 令和3年1月～
令和7年3月

活動内容

- ①自然観光振興事業推進員
- ②各種ガイド活動実施
※サイクリング・ジオ・トレイル等
- ③コミュニティースペースの運営

グリーンツーリズムの推進
各種体験コンテンツの実施
コミュニティースペース作り

応募のきっかけ

今年度、いわてグリーン農業アカデミーに参加させて頂き、環境保全型の農業の様子や、スマート農業技術を活用した有機農業等、勉強させて頂き、今後日本国内の持続可能な食料政策等も考えるきっかけとなりました。またグリーンツーリズムの受け入れ等もおこなっていきたいと考え、情報交換会へ応募させていただきました。

夢実現へ「これが必要！」

自然観光振興事業推進員として、三陸ジオパークのガイド活動や、みちのく潮風トレイルのガイド、サイクリングガイドをとおして、ひろく自然＆環境等のお話をさせて頂いておりますが、地域の歴史・特性に即した有機農業等、これからの日本の食料生産についてお話も出来るように、勉強が必要だと感じています。

仲間たちへのメッセージ

地域おこし協力隊の任期は、皆さんの想像よりも、あっという間に過ぎてしまいますので、やり残しの無いように活動してください。
※経験者談

フリートーク

岩手県拠点では、令和7年3月18日に「農業・農村分野で活動する地域おこし協力隊情報交換会」を開催しました。
この My Challenge Book は情報交換会で使用した資料を基に作成し、ご参加いただいた隊員の皆様の掲載しています。
ここでは、情報交換会での隊員の皆様からのお話を少しご紹介します！

自分と同じような
活動をしている人と
話したい

地域おこし協力隊の皆さんと
つながっていききたい

農作業や経営、価値向上、
販路拡大について教わりたい

県内の隊員と協力して
地域のポテンシャルを
活かしていきたい

県内の隊員に自分の地域に
遊びに来てもらいたい

農業に取り組む皆さんと
明るい未来の話をしたい

「ほかの隊員とつながりを持ちたい」と思っている方がたくさんいらっしゃいました。
岩手県拠点では、隊員の皆様同士が相談し合えるようなネットワークづくりの一助となるよう
今後も情報交換の機会を設けていきたいと思っています。

問合せ先

東北農政局 岩手県拠点 地方参事官室

 019-624-1125（代表）

岩手県拠点HP

